

修学旅行新聞

行所区
代千3
田一
都十
東部
京都
西神
財法人
全法
国修
研学
協行
会
TEL 東京(262)
2932・2426
編集兼 発行人
白滝 末記

われらの信条

- われわれは教育を愛し、友愛と信義を基礎とする同志的組織のもとに団結する。
- われわれは全修協創設の精神に則り、公益法人として、児童生徒の幸福のために挺身する。
- われわれは修学旅行の改善向上に邁進し、わが国の教育振興に寄与する。

迎春



年頭所感

文部大臣 中村 梅吉

新春のお喜びを申し上げるとともに、所感の一端を述べて年頭のごあいさつといたします。戦後のわが国の教育の普及は世界に誇るべきものであります。これは、教育関係者をはじめ全国民の熱意と努力の賜であり、ご同慶にたえないところであります。しかしながら、一方科学技術の発達、物質文明の繁栄に比して、精神面の立ち遅れが指摘されており、人間の涵養や、たくましく心身の育成を目指す教育の必要が強く要請されております。

わたしは、文教行政の責任者として、また、次代をなう青少年が、丈夫の能力と適性をじゅうぶんに生かし、進んで国家の繁栄と人類の福祉に貢献することができるような諸般の施策を講じたいと願っています。このため、家庭、学校、社会を通じて諸般の文教施策を推進してまいりたいと思っております。義務教育の対象となる児童、生徒、後期中等教育の対象となる青少年についても意を用い、青少年の心身の健全な育成のための施策を総合的に、順序正しく進めたいと考えております。

なお、これらの施策の遂行に際しては、父兄負担を軽減するように努めます。さらに、今年度からはじまる大学志願者の急増に対処しつつ、高等教育の拡充整備を図ることも、私立学校の振興方策を講ずることも、また、学術の振興を図り、文化の保存、振興、普及を図り、文化の国際交流を推進することも、何一つ重要な課題でないものがあります。

修学旅行を人間形成の場に

東京都教育委員会教育長 小尾 正雄



新年を迎え、各地で学校や家庭を離れ、現地に於いて学習し、それを通じて人間形成に資することでありましょう。

輸送や宿舎、衛生、事故防止等の条件の整備が教育的に配慮が図られてはじめて、その効果が期待されるのであります。修学旅行に関する条件で、近年、修学旅行専用輸送機関が整備されてきたことは慶ばしく、これについて貴協会の御努力を忘れてはなりません。これら列車の運送設備を離れた地域や地域や地帯に対する対策は十分とはいえず、

学校教育の場となる宿泊施設も安全、衛生の面を等しく、旅館業者の自主性に期待するとはいえず、一定の基準を上回るよう指導(補助費等を含め)するが、公の宿泊施設が整備されることが望ましい。

学校教育活動としての修学旅行は、全員の参加が当然であり、このためにも費用の父兄負担を軽減する配慮がなされなければなりません。

修学旅行の条件整備がなされなければならないことと共に

高校の修学旅行について

全国高等学校校長協会会長 成田 喜英

修学旅行は、また十分とは言えない。また三に取り入れて、日程の短縮をはかる学校も出ています。修学旅行には、輸送面の外に、見学、宿泊、集団生活、旅行費、非行、事故などの問題があり、校外教育として慎重に行なわねばならない。特に高校では、教科内容との関連を重視しつつ、事前に、または、実地の指導を研究する必要があり、青年期にある生徒の集団宿泊や集団行動の指導には特別の配慮が望ましい。修学旅行が単なる学校生活の楽しい思い出を残すものでなく、生徒に何を教えるかを感得させ、何を体験させるか、改めて引率教師がその際、最近では新幹線をコースの一部に考えねばならないと思ふ。

忘れてならないのは、学校が生徒に、何を与え、何を学ばせ、どう人間形成に役立たせるかでありましょう。

近年、修学旅行に対する研究が盛んになり、貴紙を通じて、御挨拶を申し述べる機会を得て、将来に資することの多いことを念ずる教師の善意の努力にもかかわらず、修学旅行をめぐる諸般の条件は必ずしも十分とはいえないことも事実であります。特に義務教育としての中学校の修学旅行は全員の参加が前提であり、安全快適な輸送、宿舎、衛生、また修学旅行に関する教師の研究の問題など、

新たな第一歩をふみだそう

財団法人全国修学旅行研究協会

理事長 山本 種一

明けましておめでとうございます。新しい年を迎え、国際情勢の流動は激しく国内の政治経済など全般にわたる大きな転機に立っており、この時にあたって、わが国教育界は民族の前途のため、いよいよ重大な使命を果さねばならぬと思ふのであります。

今年はこの使命を明確にして運動を展開してから十周年にあたる意義深い年であります。

この間、修学旅行の教育研究ならびに諸調査を行なうと共に、修学旅行専用電車、専用船舶の建設を進め、その運営組織によって、約三百万名の児童生徒を計画的かつ安全な修学旅行の実施に協力いたして参りました。

意義を認められるに至りました。これに加え、全修協理念の下に結集した全国同志諸君のたゆまざるご努力と、関係諸団体のご支援のお蔭と存じ、心からなる謝意を表すのにもあらず、修学旅行の教育環境をより高いたるに努めたいと思ふのであります。

この間、いよいよ創立の気概にたつて、修学旅行の教育的開発のため、新たな第一歩を力強く

使命への前進

全日本中学校長協会会長 小林 茂



修学旅行が学校行事として教育課程のうち、明確に位置づけられ、学校教育の場として行われることに意義があり、その実施に当たっては、私たちが細心の注意と周到な用意のもとに行なうよう、努力しておりますが、精神的にも肉体的にも特殊な発達期の中学生の、この修学旅行は、多くの困難を伴うものであることを、

創立十周年を迎えられる貴協会の発展を祈念し、貴機関がその使命を完遂されることを期待いたします。

新年 謹賀

- | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------|--------------|---------------------------|----------------------------|-------------------------|---------------------------|---------------------------|----------------------------|-------------------------|------------------------|---------------------|-----------------------|--------------------------|------------------------|---------------------------|----------------------|----------------------|
| 全国知事会会長
東京都 東 竜太郎 | 北海道 知事 町村 金五 | 九州地方知事会会長
熊本県 知事 寺本 広作 | 全国都道府県教育委員会協議会
会長 田中 義孝 | 都道府県教育長協議会
幹事長 小尾 正雄 | 全国市町村教育委員会連合会
会長 柿沼 末太 | 近畿二府三県修学旅行委員会
会長 鎌田 庄蔵 | 関東地区中学校修学旅行委員会
会長 篠原 秀男 | 東海三県修学旅行委員会
会長 岩瀬 繁一 | 全国連合小学校長会
会長 村山 伊之助 | 全日本中学校長会
会長 小林 茂 | 全国高等学校長協会
会長 成田 喜英 | 全国教職員互助団体協議会
会長 吉田 幸三 | 近畿日本鉄道株式会社
取締役 佐伯 幸 | 近畿日本ツーリスト株式会社
取締役 久保 常 | 関西汽船株式会社
取締役 友貞 甚 | 大島運輸株式会社
取締役 有村 治 |
|----------------------|--------------|---------------------------|----------------------------|-------------------------|---------------------------|---------------------------|----------------------------|-------------------------|------------------------|---------------------|-----------------------|--------------------------|------------------------|---------------------------|----------------------|----------------------|